

会議の概要

令和7年度 第5回 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

兼 ○ 大山幼稚園学校運営協議会 ○ 玉井幼稚園学校運営協議会
○ 大山小学校学校運営協議会 ○ 玉井小学校学校運営協議会
○ 大玉中学校学校運営協議会

日 時：令和7年10月22日（水）18:30～20:00

場 所：改善センター 多目的ホール（1階）

（進 行 指導主事 星 雅人）

1 開会のことば （おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 館下 愛理）

皆さん、こんばんは。これより令和7年度第5回おおたま学園コミュニティ・スクール委員会（以下CS委員会と略記）を始めます。よろしくお願いします。

2 教育長あいさつ （大玉村教育委員会教育長 渡辺 敏弘）

皆さん、こんばんは。本日もお忙しいところ、またお疲れのところお集まりいただきましてありがとうございます。先日行われましたふれあいフェスタについても本当にありがとうございました。

今日の委員会では、資料にもありますが、全国学力調査、ふくしま学力調査の結果と対応についてご説明するとともに、大部分の時間は先日行われましたふれあいフェスタの課題と改善点について熟議をお願いする予定にしております。

今年のふれあいフェスタは、熊の出没増加によって登山とオリエンテーリングを中止し代替の交流活動を行いました。大変残念なところではあったのですが、各学校の教職員の皆様やCS委員の皆様方のご尽力によって、子どもたちにとって意義のある一定の成果のあった活動になったと捉えているところです。ただ、一方では熊の問題は今年で収まるというものではなくて、来年以降も考えていかなくてはならない課題であると思います。

また、本日の資料のアンケート結果にもありますが、ふれあいフェスタの意義や内容をしっかりと見直す必要があると捉えています。このふれあいフェスタのスタートそのものはCS委員会で発案されたということではありますが、実質主催をおおたま学園として取り組んできております。そのことをもう一度確認したいと思います。

ふれあいフェスタは、子どもたち、そして地域の皆様の思いを可能な限りくみ取り、子どもたち同士あるいは子どもたちと保護者や地域の方々との交流、さらには自然環境や資源との関わりの中で子どもたちに豊かな体験を提供し、その結果としてよい人間関係や郷土を愛する気持ちを育んでほしいというねらいをもっています。今後、活動の内容や形態をどのようにしていけばより意義があるものになるのか再構築する必要があると思っています。

おおたま学園を実質的に運営しているのは、幼・小・中それぞれの教職員の皆さんです。（ご苦労をおかけすることにはなと思うのですが）幼・小・中の教職員の立場で、どんな子どもたちを育てたいのか、そのためにはどんな活動をしたらいいのか、あるいはどんな活動だったら今後も継続的・持続的に位置づけることができるのかをより一層主体的に考えていただいて、次年度以降の実現に向けてご協力いただきたいと思っています。（今日ここにいらっしゃるのには校長先生、副園長先生方だけなのですが…）

もしかすると、次年度に向けた検討の中で来年度は登山等は難しいという結論に至ることもあると思います。ただ、その場合には、できればその活動を他の活動のどこかで補えるような取り組み、例えば、登山等を学校として取り組むのは難しいので、主催をCS委員会として希望者だけという形で

設定するのも一つのやり方として考えられると思っています。学校にもCS委員の皆様にも無理をしてまでということではありませんが、この後の各グループでの振り返りの熟議をスタートとして、次年度に向けて進めていければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

3 おおたま学園CS委員会会長あいさつ (CS委員会会長 矢吹 吉信)

皆さん、改めましておぼんでございます。本日は、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。先日は中学校の文化祭、そしてこの週末は各小学校の学習発表会ということで、学校は1年間のうちで一番盛り上がる時期というか、子どもたちが活躍する時期ではないかと思っています。今週末の学習発表会をとても楽しみにしているところです。

さて、今教育長からもありましたように、本日の議題の中心は、大玉村の教育の特色でもありますふれあいフェスタについて課題と改善点を協議することです。今年は、いろんな問題があつてこのような形で終わったわけですが、次年度どういう形にしていっていいのか話し合っていきたいと思います。今日はよろしくお願いいたします。



4 諸連絡 本日の日程・内容について (指導主事 星 雅人)

本日は大きく分けて以下の2点について協議を進める。

- 令和7年度 全国学力・学習状況調査結果【大玉村概要】、令和7年度 ふくしま学力調査結果【大玉村概要】について
 - ① 事務局より結果の説明
 - ② 質疑応答
- おおたまふれあいフェスタの課題と改善点について → 記録用紙を準備したので後で提出
 - ① 事務局より説明、質疑応答(全体会)
 - ② 小グループによる熟議(分科会)…課題・改善点について
 - ③ 全体での共有(全体会場<多目的ホール>に戻って)

5 協議 (座長 CS委員会副会長 浅和 博栄)

(1) 令和7年度 全国学力・学習状況調査結果【大玉村概要】、令和7年度 ふくしま学力調査結果【大玉村概要】について

(座長) 改めましてこんばんは。暫時の間ですが、座長ということで進めていきますので、皆様からの貴重なご意見等をいただければと思います。それでは、令和7年度 全国学力・学習状況調査結果、令和7年度 ふくしま学力調査結果について事務局より説明願います。

① 事務局より説明 (星指導主事)

～ 詳細は省略 ～

② 質疑応答

(座長) ご説明ありがとうございました。皆様方から確認したい点等がございましたらお願いします。

(CS委員)・・・特にない様子・・・

(座長) 昨年度の結果と比べて今年はどうだったのでしょうか。

(星指導主事) 子どもたちも問題も違いますので一概には言えないのですが、小学校に関してはほぼ県の平均レベルと同等であると言えます。中学校は、数学科が県の平均との差がややありますが、国

語科についてはほぼ県レベルです。

(座 長) その他皆さんから何かありますか。・・・

後ほどでも結構ですので、何か気になる点がありましたらご意見をいただきたいと思います。

(2) おおたまふれあいフェスタの課題と改善点について

(座 長) では、協議事項(2)「おおたまふれあいフェスタの課題と改善点について」ということで、まず事務局より説明をお願いします。

① 事務局より説明

(星指導主事) 資料①「2025おおたまふれあいフェスタ アンケート結果」をご覧ください。

・ 2～4 ページ

質問項目3つ(「今回の活動を振り返って、活動内容はよかった(楽しかった)と思うか」、「今回の活動では、他校やたくさんの地域の方々に協力して頂いたが、この活動は有意義だったと思うか」、「今回の活動を通して、大玉村への理解や愛情が深まったと思うか」)について活動ごと、参加者ごとの集計結果をグラフで表したもの。児童・生徒は、8割以上が「楽しかった」、「よくできた」と回答している。

・ 5～10 ページ … 教職員・教育委員会の回答(記述)

・ 11～12 ページ … 協力団体・CS委員・保護者ボランティアの回答(記述)

・ 13～21 ページ … 児童・生徒の自由記述の主なもの

この後、グループに分かれて19時30分まで熟議をお願いします。スポーツ交流イベント部、ミニ運動会部、昔遊び・グラウンドゴルフ部は課題と改善点について、今回交流活動に変更した登山関係の部とオリエンテーリング部は合同で協議してください。

各部長を中心に記録係を決めて進めてください。まず、アンケート結果について自分が携わった活動についての記述をよくご覧いただき、今後のふれあいフェスタの仕方について、それぞれの委員の考えを交換していただきたいと思います。今日は、今後よりよいふれあいフェスタにするための率直な意見を出していただく機会としますのでよろしくお願いします。

① 質疑応答

(座 長) 説明ありがとうございました。質疑応答ということですが、この後小グループに分かれて熟議していただくようになりますので、そちらで只今星指導主事からあった話を踏まえた上でお話をしていただきたいと思います。全体の共有が19時30分からになっております。それまでにまとめていただいて、各グループから発表できるようお願いします。

② 小グループによる熟議(おおたまふれあいフェスタについて)





③ 全体で共有（全員協議）

（座 長） それでは時間になりましたので、全体での共有ということで各部門から話し合った内容を伝えていただければと思います。よろしくお願いします。

ア スポーツ交流イベント部 （大山幼稚園副園長 二瓶 博子）

- 年長組だけで落ち着いて実施できた。ペアのことも理解し活動できていた。
- 早めの時期にしてよかった。また、屋内運動場での実施であったので天候にかかわらず心配なく実施できた。
- 内容について … 遊びの内容については十分であった。はじめにペア（玉井幼稚園と大山幼稚園）のふれあい活動をもう少し入れてもよかった。
- おじいさん、おばあさんたちにあまり無理をさせてはいけないので、今回の活動内容は適切であった。

【改善点】

- ふれあい活動の際、はじめにペアになった時に手遊びや自己紹介等を入れる。両幼稚園で同じ手遊びや歌をあらかじめ練習しておく。そうすると次の遊びに移った時にコミュニケーションをとりやすくなるのではないかな。
- 昔遊びなどのふれあいコーナー（遊び）があってもよいので考えていきたい。
- クライミングの担当は背の高い男性がベスト
- この活動（持ち方について）を今後も継続していきたい。

イ 昔遊び・グラウンドゴルフ部 （ＣＳ委員会副会長 館下 愛理）

- 開催場所について
暑かったので空調設備が整った改善センターでの実施はありがたかったが、全体の動きや流れが見えにくかった。（昨年度の中学校も同様）
- 班ごとに回るコースが決められていたが、遊びの種類が多すぎて1つの遊びの時間が短いため十分に体験できない。すべて回れるようにしたい。



- アンケート結果から
先生方にやらされ感があるように感じる。事務的なことや児童の指導等で先生方が動いているのが実情とは思いますが…。主催がおおたま学園で先生方が主体の行事だと思うのだが、ＣＳ委員会にやらされているととらえていること自体よく理解できない。ＣＳ委員としてどのように関わったらいいのかがよく分からなかった。

【改善点】

- 老人クラブの方々でもやったことのない昔遊びもある。朝の時間帯に各ボランティア、ＣＳ委員全員で打ち合わせをする時間があればスムーズに進行するのではないかな。

- 各団体をお願いする時に得意な種目にあらかじめ入ってもらうよう検討する。
- 雨天時に合わせた人員の配置を事前に計画しておく。(雨天バージョン)
- 先生方とCS委員の立場を明確にする。
- 昔遊びの種類自体を減らして、必ずみんなが同じ体験ができるようにする。

ウ 大名倉山登山部・安達太良登山部・オリエンテーリング部 (指導主事 星 雅人)

- 今年と同じような状況は来年も続くと予想される。学校行事として登山等の実施は難しい。だが、保護者の登山を望む声もある。
- 今回交流活動として各校にお世話になって実施したわけだが、交流という観点では意義があったのではないかな。

【改善点】

- 村主催で休日に行われる大名倉山登山や安達太良登山もあるので、CSと共催する形で登山ができる機会をつくるのもいいのではないかなという意見も出た。そうすると、学校全体というより希望者ということになる。意義や目的を確認してうまく調整できないか検討する。
- 急な変更となり担当校には大きな負担をかけた。交流活動を行うのであれば、最初からそのような形で立案し進めるようにする。
- 地域との関わり、人との関わり等を重視し、地域の達人から教わる活動もある。(ex. ものを作る活動<ex. 麦わら作り>、歌ったり踊ったりする活動等)



エ ミニ運動会部 (大山小学校長 澤藤 晃治)

- 打ち合わせを2回(準備を含む)行ったが、内容的に打ち合わせ不足であった。それが十分できていれば中学生の関わりももっとできたのではないかな。
- 開催場所は雨天時のことも考え、体育館実施がよい。
- 屋内でスペース的な狭さがあり、リレーでは危ないところもあった。(壁にぶつかりそうだった) → 2人3脚やお玉ピンポンリレーとかの競技も考える。
- ミニ運動会において子ども同士の交流はできるのだが、地域との交流は難しいと考える。ボランティアの方々の参加でよしとしたい。
- 教員の負担が大きく、苦勞していることをなかなかイメージできず申し訳ないという意見があった。CS委員や中学生で分担する必要がある。
- 中学生が自主的に競技内容を考え運営できるようにする。
- そもそも目的を大事にすることが一番である。

【改善点】

- 3つの種目を選んだが、準備(道具等を含めて)が大変だったので、準備の少ない種目に変える。
- その場集まるだけでできるような活動にするのも一つの方法である。(県レクリエーション協会に講師派遣等依頼する)



(3) 全体での意見交流

(星指導主事) ありがとうございます。部門に関係なく熊のことも話題になりました。来年度に向けての方向性等何かご意見がありましたらぜひお聞かせください。

(平委員) 私は、今回「昔遊び」のお手伝いをさせていただきました。先ほど、館下副会長からお話があったのですが、種目が多すぎて1つのブースで遊べる時間が15分ぐらいで少なかったと思います。種目によっては遊べずに終わってしまうものが何種目もありました。私は、「コマ回し」のところにいたのですが、ひもの巻き方を教えているうちに音楽が鳴ってしまい、回せないままに終わってしまったことがありました。8つある遊びを4つぐらいに絞るのも一つの方法ですし、1～4の遊びは1年生で、5～8の遊びは2年生でというふうに分けて時間をたっぷりとってあげたら、「遊べた！」という満足感につながるのではないかと思います。

また、CSとして「昔遊び自体を村に残していこう」というのであれば、やっていて楽しんでいた子がたくさんいましたので、学校のクラブ活動に「遊びクラブ」をつくってもらって、今は教えられる老人クラブの方々がいるので、来てもらい教えてもらう機会を作れば、村に残していけるのかなと思いました。

今回、登山やオリエンテーリングは、熊被害や天候の問題があって別の種目変わったわけですが、これらは自分たちの力ではどうしようもないことで変更になったので、そこは見直しの時期に来ているのではないのでしょうか。登山については生涯学習課主催の希望者によるイベントがあるので、そちらに参加してもらいたいと思いました。

準備の段階からCS委員が学校の先生方と一緒に進めていけるようにしたいですし、それが活動の見直しにもつながると考えます。形ができているところにCS委員が乗っているような感じがしたので、そういう部分を検討してほしいと感じました。

(座長) 全体を通して確認したい点があれば何かございましたらお願いしたいと思います。

(CS委員)・・・特にない様子・・・

(座長) 課題、改善点、今後の進め方いろいろ出てきましたが、改めてCS委員会等で熟議を重ねながら進めていきたいと思います。以上で協議を終わります。ご協力ありがとうございました。

6 その他

- 全国CS研究大会 in 仙台 (10/30 申込〆切)
- 学校関係者評価研修会 1/20(火) 18:30～19:30 講師：大堀 満 氏
- 大山小オープンスクール・学校運営協議会 11/21(金)

7 閉会のことば

(CS委員会副会長 吉田 都)

皆さん、お疲れさまでした。急に寒くなりましたので、お気をつけてお帰りいただきたいと思います。これでCS委員会を終了します。お疲れさまでした。

